

授業6-1 顧客を深く理解する① ペルソナ			
ねらい	「一人の想像の人物」を想定し、その人の特徴を想像しながら、人物設計を通して顧客を共感的に理解させる。	教材	ワークシート 1 枚

展開時間	指導内容	留意事項
導入 5分	1 「ターゲット」と「ペルソナ」の違いを理解する。	
	・ 本時の目標を確認する。 ・ 「ターゲット」と「ペルソナ」の違いを説明する。	・ ターゲットは、20代女性・高所得層・中高生など。ペルソナは1人の架空人物。
展開 1 14分	2 [ワーク①]コーヒーチェーン店でコーヒーを飲む人はどんな人がいるか考えてみよう。	
	・ 文章生成 A I を開かせ、どんな人がコーヒーチェーン店を利用するのかを質問させる。回答内容からより詳細な基本属性を考えさせ、ワークシート（Aさん～Fさんまで）に記入させる。 （個人10分）（グループ共有 4 分）	・ 個人で考えたことをグループやクラスで共有する際には否定せず、どのような意見でも肯定的に捉えるよう声掛けを行う。
展開 2 26分	3 [ワーク②]コーヒーチェーン店でコーヒーを飲む人を深く想像してみよう。	
	(1)ワーク①で記入した基本属性の中から1つを選択させ、文章生成 A I に質問しながらより深くイメージさせる。その人がコーヒーチェーン店を利用している具体的な状況やその時の心情、趣味や価値観など、ワークシートにある項目を参考にしながら詳細に想像させる。 （個人15分）（グループ共有 6 分）（クラス共有 5 分）	・ 性別や年齢、家族構成や職業などより詳細に想定させる。コーヒーチェーン店を利用する際のシチュエーションをできるだけ具体的に想像させ、その人がどのような日常生活を送っているのかまで想像するよう声掛けを行う。
まとめ 5分	4 [ワーク③]本時の振り返り	
	・ 本時の気づきを記入させる。 （個人 5 分）	・ ペルソナについて理解できたかを再確認し、必要に応じて再度説明をする。そして、今後の活動ではその架空人物に共感する「共感マップ」を活用してペルソナをさらに深掘りしていくことを伝える。